

梯郁太郎メモリアル

デジタル化の波にともない、
絶滅の運命にあった数々のモジュラー・シンセサイザー
いまやユーロラックに形を変え
新しい音楽を生み出すその進化の歴史を探る。

“シンセサイザー創世記” 進化するモジュラー・シンセシス

moog

MOOG IIIc 1965

ARP

ARP 2500 1970

Buchla

Buchla 100 1964

Roland

SYSTEM-700 1976

GUEST MUSICIANS



亀川 徹 (かめかわ とおる)

九州芸術工科大学音響設計学科卒業後、NHKに入局し、N響コンサートなどの音楽番組の音声を担当。2002年に東京藝術大学音楽環境創造科に就任し、音響、録音技術について研究指導をおこなう。3D オーディオの録音・再生に関する研究や立体音響による音響空間のアーカイブ化などに取り組んでいる。博士(芸術工学)。



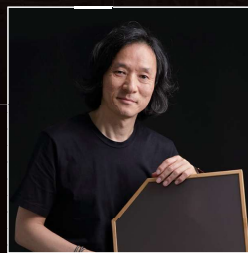
HATAKEN

モジュラーシンセ・アーティスト。1990年代から世界各地でライブ活動を行い、Greg HunterとのWaveshaperや“SUGIZO×HATAKEN”でも注目される。2013年より「Tokyo Festival of Modular」を主催し、モジュラーシンセの普及に尽力。欧州、アジアツアー、Fuji Rock Festival、FoM in EXPO'25などに出演。



江夏正晃 (えなつ まさあき)

marimoRECORDSのプロデューサーとして多くのアーティストのプロデュースをするかわら、エレクトロユニットFILTER KYODAIとしても活動中。CM音楽、映画のサントラ、自動車のサウンドデザインなども多数手掛ける。関西学院大学非常勤講師、洗足学園音楽大学の客員教授も勤め、著書に「DAWではじめの自宅マスタリング」などがある。



梯 郁夫 (かけはし いくお)

パーカッションニスト。東京音楽大学打楽器科卒業。民族音楽から現代音楽、ポップミュージックまでジャンル越え、あらゆる分野のコンサート、スタジオワークに参加。レコーディングに於ける斬新かつ的確なアプローチには、多くの作曲家が厚い信頼を置いている。また電子打楽器の開発にも多数関わる。

2026.

2.11 (祝)

Open 16:00

Start 16:30

入場料：2,000円(税込)

お申し込みは
こちらから →



NAVIGATOR



松武秀樹 (まつたけ ひでき)

20歳から福田勲氏のアシスタントとして、moogによる音楽制作を経験。78年にYMOの作品に参加、ワールド・ツアーにも帯同。'81年、自身のユニット「Logic System」をスタート。世界中に熱狂的なファンを生み出す。2017年、第20回文化庁メディア芸術祭「功労賞」を受賞。2025年、YMOヘリスバクトを贈る「MUSIC AWARDS JAPAN A Tribute to YMO」で大トリを務めるなど、今もなお第一線で精力的に活動している。

会場：Artware hub KAKEHASHI MEMORIAL



【会場アクセス】

- 東京メトロ副都心線「西早稲田駅」1番出口より徒歩6分
- 東京メトロ東西線「高田馬場駅」6番出口より徒歩9分
- 東京メトロ東西線「早稲田駅」3b番出口より徒歩12分
- JR山手線/西武新宿線「高田馬場駅」早稲田口より徒歩12分

公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

● TEL：03-6205-6915

● URL：https://www.kakehashi-foundation.jp/

● Mail：info@kakehashi-foundation.jp

主催：公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

協力：株式会社コルグ、東京藝術大学、有限会社福産起業、ヤマハ株式会社、ローランド株式会社